

ごとう智文



みんなの町政への願い
その実現のために提案し続けます

初心に返りがんばります

私は、立山町政に携わって15年余、その間、絶えず困難な状況に直面しましたが、皆様に支えられて3期まで務めさせてもらっています。

思えば最初の立候補は、町へ引っ越ししてから6年目という何も分からぬまま、ただ、立山町が好きだということです。立候補しました。地元の皆さんをはじめ、多くの皆さんの支えで当選させていただき、町の教育・福祉を良くしたいという思いを抱いて議員活動をしてきました。

私は今、その初心を忘れず、町民の暮らし、福祉・教育、そして、町の基幹産業である農業および観光発展のために全力でがんばります。

中学3年生までの医療費無料化を

県内5町村では、立山町を除いてすべて中学3年生までの入院・通院費は無料になっています。立山町は残念ながらまだ入院費だけが無料です。子育てしやすいまちづくりのために、通院費も無料化を目指します。

子育て



住宅リフォーム

助成の制度化を

町内の事業所や従業員数は大幅に落ち込んでいます。町内の業者と町民を応援するために、住宅リフォーム助成制度をつくるべきです。

中小企業

国民健康保険税の引き下げを

この4年間で40%も値上げされ、払いたくても払えないという声を多く聞きます。

国民健康保険は町民の命を守る最後の砦であり、病気のときは気兼ねなく医者にかかる制度にすべきです。

医療

固定資産税率を元に戻し、負担軽減を

教育施設充実のために固定資産税率を上げてきましたが、立山北部小学校の建設で一段落します。毎年約5千万円の住民負担増をなくし、軽減すべきです。

税軽減



ごとう議員は議会毎に一般質問

★通算46回 町民の声を当局へ届けました★

議員の大切な仕事は、町当局の税金の使い道をチェックする働きと、町民の願いをまっすぐに当局へ届けることです。ごとう智文議員は、委員会などで税金の無駄遣いがないかどうかいつもチェックし、議会毎に欠かさず一般質問を行い、再々質問まで行って町民の願い実現に尽力してきました。

ごとう智文議員は地方自治法の第一条に書かれている「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として…」の精神を立山町政へ反映させるために、いろいろな政策を提案してきました。

これまで提案し、実現してきたこと

- ★中学校3年生までの入院医療費の無料化は、住民団体と一緒に署名行動に取り組み、実現しました。
- ★立山北部小学校の前倒し建築が実現し、全小学校の普通教室にエアコン設置費用が予算化されました。
- ★就学援助項目にPTA会費と生徒会費も含まれることになりました。
- ★元気交流ステーション内に音楽室が設置されました。
- ★大震災に備えて発電機などの防災用品の設置が進みました。
- ★岩崎雄山神社のトイレ改修費が予算化されました。
- ★吉峰パークゴルフ場増設のための調査費が予算化されました。



これまでの議会での主な主張

- 元気交流ステーションの建設の是非と使い勝手の良さを追求
- 国民健康保険税値上げは町民負担増になると反対
- 子育て支援のために、保育費の減額や学童保育を全町に、など一貫して主張
- TPP問題で当局を質し、一貫して反対を主張
- 農業発展を目指して農業施設の充実など提案
- 高齢者福祉充実のため特別養護老人ホーム建設や除雪支援を要望
- 街中銭湯の存続を要望

原水爆と原発のゼロを願って



(国民平和大行進・ナビ才前にてギターと歌で参加)

【ごとう智文の経歴】

1952年10月福岡県生まれ、町議3期、日本福祉大学卒業、友希学習塾塾長、元岩崎雄山神社前立社壇氏子会顧問、元岩崎寺区長、元立山町議会広報特別委員会委員長、産業厚生常任委員会副委員長、Net3議會議員、妻・子ども3人